

やまびこだより

2020 第51号

第25回通常総代会	2
令和元年度事業実績	3
令和2年度運営の基本方針	4
役員紹介・職員人事	4
皆伐・再造林の基本方針と現状	5
特産物加工場より	6

目

次

長倉の大杉

樹令千二百年余、高さ約四十米、幹の太さ約十二米、緑起書によれば、神亀元年創建されたと言われる今熊野神社の境内に神木として育ち、又月山登拝道角川口の入口に立って長い歴史を見つめて来ている老杉である。昭和二十七年山形県指定天然記念物となる。

戸沢村文化財保護委員会

第25回通常総代会



第二十五回通常総代会が五月二十九日（金）新庄市民文化会館小ホールにて開催いたしました。本総代会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、系統の指導に沿い、規模を縮小し、最小限での運営・開催となりました。

議長には、高橋忠助氏（真空川地区総代）を選任し、提出された九議案全て原案通り承認・可決されました。

総代出席者十七名
書面議決 百六十六名

議決された議案は次の通りです

第一号議案

令和元年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件

第二号議案

令和二年度事業計画設定の件

第三号議案

令和二年度借入金 の 最 高 限 度 額 の 決 定 の 件

第四号議案

令和二年度一組合員に対する貸付金並びに債務保証の最高限度額の決定の件

第五号議案

令和二年度役員報酬額の決定の件

第六号議案

令和二年度余裕金の預け入れ先の決定の件

第七号議案

造林補助金取扱手数料決定の件

第八号議案

定款一部改正の件

第九号議案

役員選任の件

令和元年度 決算の概要

平成から令和に変わった本年も自然災害の怖さを改めて思い知らされた年となりました。

庄内沖を震源とする最大震度六強の地震をはじめ、東日本を襲った台風十九号では、豪雨災害や土砂災害が発生し、改めて森林の持つ水源涵養機能の重要性がこれまで以上に再認識させられました。

今冬では、今まで経験したことのない暖冬により積雪がほぼ無い状態が続き、積雪を利用した冬期作業の伐採・搬出作業ができない年となりました。

一月には新型コロナウイルスが日本でも発生し、感染拡大によって、サプライチェーンの寸断や消費の落ち込みなどを通じて日本の経済や企業業績に深刻な影響を及ぼしています。

このような経済が深刻な状況下でも、林業に於いては森林資源の充実と木材需要の拡大により、林業には追い風が吹き始めています。また、地球温暖化対策が重要な課題になっており、森林のCO2吸収機能が注目され、森林の価値は以前にも増して高まっています。

木材の需要量の拡大による皆伐後の再造林施策には、森林施策支援事業を活用し、所有者負担無しでの造成に積極的に取り組みました。

新たな森林資源の適切な管理をするため、森林所有者自らが経営管理できない森林の管理を市町村や意欲と能力のある林業事業体によって持続的に手入れを行う措置を講じることと内容をとする森林経営管理法による、森林環境譲与税が今年度初めて配分され、配分額は二〇〇億円となり、令和二年度は二倍の四〇〇億円に増えることとなりました。

今年度における事業の総収益は、四五一、六五二千円で事業総利益は一四四、九一九千円、税引前当期利益が五、六七〇千円を計上することができました。当期剰余金は二、五七〇千円で前年対比では総利益が上回る結果となり、未処分剰余金は一一、四二〇千円計上することができました。ここに、組合員各位並びに国・県・市町村・関係機関等のご指導・ご協力で衷心より感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

損益計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位：円)

科 目	小 計	合 計	事 業 区 分			
			計	指 導	販 売	森 林 整 備
I 事業 総 損 益						
1 事業 総 収 益	451,652,604		451,652,604	283,442	197,375,723	253,993,439
2 事業 総 費 用	306,732,750		306,732,750	1,276,547	148,325,033	157,131,170
事業 総 利 益		144,919,854	144,919,854	-993,105	49,050,690	96,862,269
II 事業 損 益						
1 人 件 費	112,750,044		112,750,044	5,637,502	35,798,139	71,314,403
2 旅費・交通費	433,207		433,207	21,660	137,544	274,003
3 事 務 費	3,580,588		3,580,588	179,029	1,136,837	2,264,722
4 業 務 費	4,415,818		4,415,818	220,791	1,402,022	2,793,005
5 諸 税 負 担 金	1,491,600		1,491,600	74,580	473,583	943,437
6 施 設 費	16,664,723		16,664,723	833,236	5,291,050	10,540,437
7 雑 費	1,005,774		1,005,774	50,289	319,333	636,152
事業 管 理 費 計		140,341,754	140,341,754	7,017,087	44,558,508	88,766,159
事業 利 益		4,578,100	4,578,100	-8,010,192	4,492,182	8,096,110
III 経 常 損 益						
1 事 業 外 収 益	1,325,253					
2 事 業 外 費 用	238,497					
事業 外 損 益		1,086,756				
経 常 利 益		5,664,856				
IV 特 別 損 益						
1 特 別 利 益	368,280					
2 特 別 損 失	362,600					
特 別 損 益		5,680				
税 引 前 当 期 利 益		5,670,536				
法人税・住民税及び事業税		3,100,000				
当 期 剰 余 金		2,570,536				
前 期 繰 越 剰 余 金		8,850,173				
当 期 未 処 分 剰 余 金		11,420,709				



令和二年度 運営の基本方針

- 地球温暖化は世界規模で問題視されています。森林は地球温暖化の一因とされている二酸化炭素を吸収する働きがあるため、荒廃した森林を整備し、森林の持つ水源涵養機能を高めなくてはなりません。山形県では「伐つたら植える」を合い言葉に、皆伐後の再造林施策を促進しております。当組合でも、組合員の皆様へ再造林の重要性を周知し、また補助金を活用した再造林施策を実施してまいります。
- 新型コロナウイルスで疲弊している日本経済に於いて、川上である林業界にも影響を及ぼす事が予想されます。木材需要量の増加に伴い、木材の素材生産量も年々増えてまいりましたが、川下の住宅建築の停滞などで、木材需要の先行きが不安視される中、系統のスケールメリットを活用し、販路を確保していきます。
- 現在の素材生産に於いてはB材の流通量が増加していますが、B材のみならずA材の販路を開拓した上で、安定供給体制を構築し、組合員の皆様に少しでも多くの利益還元ができるように、努めてまいります。
- 森林整備施策を実施するために組合員等との合意形成を図りながら、森林経営計画を積極的に策定します。皆伐後の再造林では林産班と連携し、一貫作業による低コスト化に取り組み速やかに植栽できる仕組みを構築します。
- 素材生産では、生産経費の低コスト化に取り組みます。高性能林業機械等を活用し効率的な作業システムでの素材生産力の増強を図り、事業の効率化に努めます。
- 業務管理に於いても管理費等を改善しながらコストの削減に努め、経営の安定化を図りながら健全な財務基盤と効率的な組合運営を行います。

役員紹介

理事

- 代表理事組合長 佐藤景一郎(真室川町)
 理事 清水 清秋(新庄市)
 理事 阿部 範夫(最上町)
 理事 鈴木 健一(大蔵村)
 理事 森 正昭(新庄市)
 理事 叶内 富夫(舟形町)
 理事 安彦 敏春(大蔵村)
 理事 安喰 秀弥(鮭川村)
 理事 大山 照明(戸沢村)
 理事 南 勝雅(舟形町)
 理事 佐藤 俊一(真室川町)

監事

- 代表監事 金田 勝雄(最上町)
 監事 松田 洋一(戸沢村)
 監事 三浦喜美義(鮭川村)

訃報

理事 大山照明氏が、令和二年六月一八日にご逝去されました。大山氏は、永年にわたり組合発展のためご尽力下さいました。心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

職員人事

総務課

- 総務課長 斎藤 慎士
 総務課係兼販売会計係 佐藤いずみ
 総務課会計係 越後 麻美
 総務課係 笠原 雄平
 総務課係 星川真理亜

森林整備課

- 森林整備課長 高橋 雄一
 森林整備課長補佐 松澤 強
 森林整備課主査 渡部 勝義
 森林整備課係長 井上 敏行
 森林整備課係 沓澤 重泰
 森林整備課係兼販売係 奥山 宏太
 森林整備課会計係 荒木 順子

林産振興課

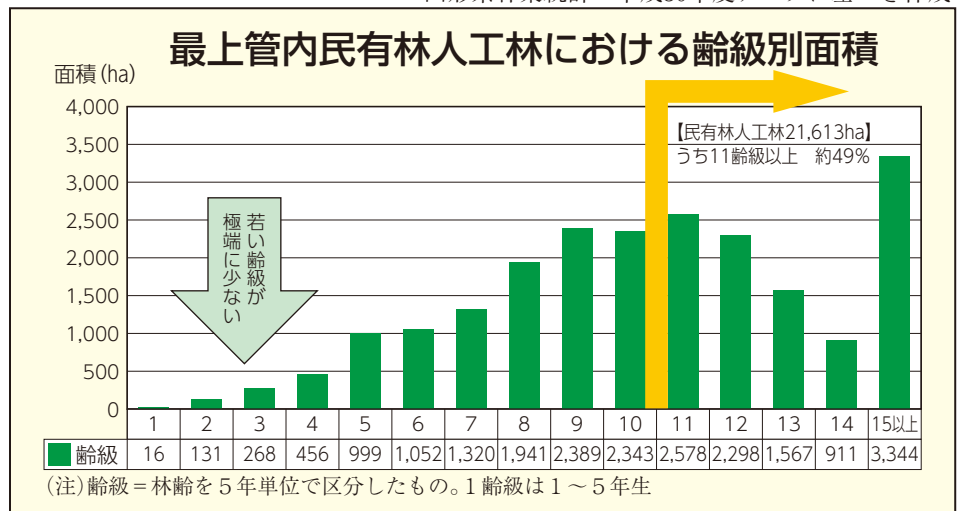
- 林産振興課長 沓澤 卓美
 林産振興課会計係長 森 恵子
 林産振興課係長 鈴木 健一
 林産振興課係 佐藤 徹
 林産振興課加工場係兼販売係 阿部 和也
 林産振興課加工場会計係 佐藤 和子
 林産振興課係 藤田 翼
 林産振興課係 庄司 智輝

皆伐・再造林の基本方針と現状 (再造林率100%に向けて)

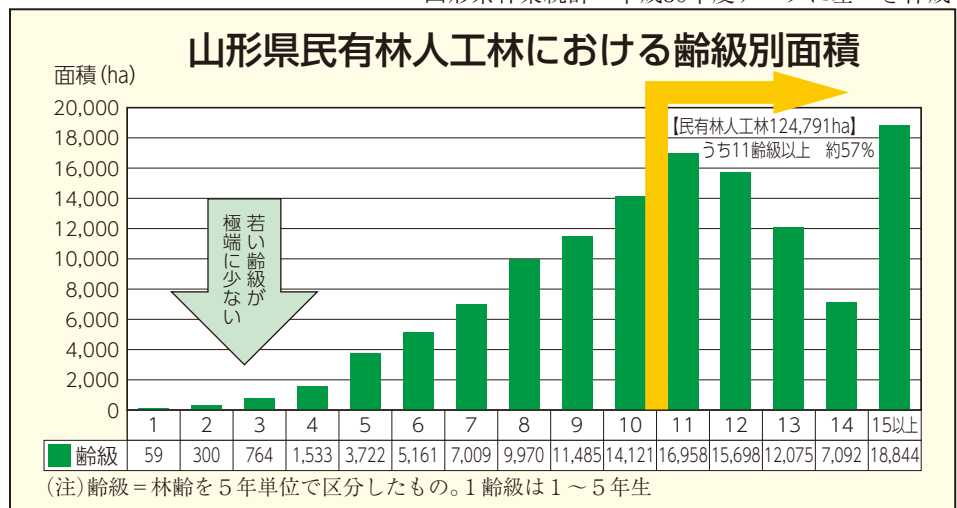
再生可能な資源である森林資源を持続的に利用するには、皆伐後の再造林が必要です。最上管内の民有林人工林齢級別面積は11齢級から15齢級以上が全体の約半数を占めており、若齢級の人工林が極端に少なくなっております。このような齢級の偏りを平準化させるため、利用期を迎え伐採した後、山形県では、「伐ったら植える」を合い言葉に、再造林（再度植栽）を推し進めております。

近年、記録的豪雨の多発により、林地の崩壊や土砂の流入等で生活に影響を及ぼす事態が発生しております。人工林の伐採跡地についても、造林を行わず放置すると、森林の再生が遅れ、森林の持つ公益的機能が低下することが懸念されます。当組合では、伐採後の再造林を森林所有者の同意を得た上で、確実に実施し、森林資源の循環利用のサイクルを構築していきます。

山形県林業統計 平成30年度データに基づき作成



山形県林業統計 平成30年度データに基づき作成



最上広域森林組合では、令和元年度造林施業実績として約10ha実施しました。また、今年度の造林予定面積は約23haを予定しております。再造林についてご質問等ございましたら、当組合森林整備課までご連絡下さい。

特産物加工場より

SGサプラーⅡ



当店で取り扱っている長靴の中では一番の売れ筋商品であり、林業の現場では広く活躍している長靴です。

¥15,620(税込)

マイティーツ



アラミド繊維を本体に使用し、高い耐切創性、耐貫通性を発揮し、とても丈夫です。

¥16,060(税込)

岩礁



とにかく軽く折れにくい長靴で長時間履いて歩いても疲れにくいのが特徴です。また、足首の部分が柔らかい為、締具付きになっています。

¥16,104(税込)

★委託加工では、一年を通して生の小豆、ささぎ豆、黒豆を缶詰に出来ます。

- ・各豆1升に対して砂糖2kgをご一緒にお持ち下さい。
- ・1缶275円(税込) 生豆1升につき14缶 3,850円です



月曜日～木曜日は午後5時まで

金曜日は午前中まで

受付しております



7月1日より、袋ご利用の場合1枚につき3円頂きます。

★購買品では、長靴・地下足袋・笹刈刃・鉋・鋸・鎌等の林業資材を中心に多くの商品を取り扱っております。

当店で取り扱っていない林業関係の商品もご相談頂ければ取り寄せ販売も可能です。ご来店を心よりお待ちしております。

組合員の皆様へ

住所や氏名に変更が生じた際は、手続きが必要となりますので、当組合までご連絡下さい。

最上広域森林組合

TEL 0233(62)2102

FAX 0233(62)2953

メールアドレス soumu@mogami-morikumi.or.jp
HPアドレス mogami-morikumi.or.jp